

2022年度の総会は、新年が開けて以降オミクロン株による新型コロナの感染急増の為、当初予定していた第一ホテルでの開催を ZOOM での総会に変更、1月16日、17日の2回に分けて実施されました。前年度の報告（活動、会計、会計監査）、本年度の運営委員案（三役、退任委員、新任委員）、本年度の計画案（活動、予算）について審議され、いずれも提案通り承認されました。



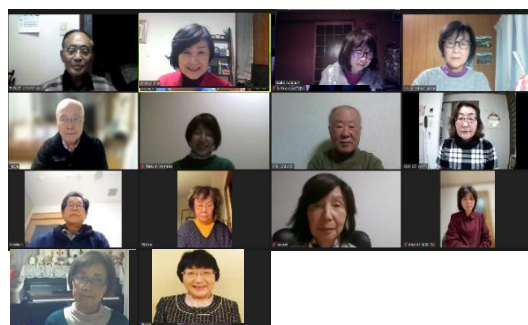
会長挨拶

一昨年の初めからコロナという言葉を見聞きしない日はありません。その影響で渡航や受入れを始め、諸活動も制約を受けていますが、当初は馴染みのなかったリモートでの会議や交流も段々身近なものになってきました。また、長年貢献された方が諸事情により委員を退任される一方、4人の方が新しく委員に加わって頂くことになりました。FFI も従来のやり方だけでなく、困難な状況を乗り越えるための変革、交流の提案を発信し FF 活動の推進、サポートに取り組んでいることが目に見える様になりました。不都合な状況の中ではマイナス面に目が行きがちですが、プラス面にも目を向けて行かないと、喜びや楽しみが見つからずつまらない時を重ねることになります。来年は FF 大阪クラブ創立40周年。これに関する企画準備、国内交流、などを始め、いろいろな活動を計画しています。リスクへの配慮は必要ですが、そればかりに目をとられることなく、出来ることを、出来る時に、出来る方法を見つけて、皆さんとともに友情を深め広げる活動を進めたいと考えています。そんな時代もあったね、と早く言えるようにになりたいものです。



2022 年委員会メンバー

- 会 長 佐藤啓一
 副会長 細井八千代、今井綾
 事務局 金山忠夫
 委 員 長谷部純子、山田多津美、吉良末子
 岩田幸子、大月弘義、和多田美津子（新任）
 西田直美(新任)、南山市子(新任)、
 菅原誠子(新任)
 顧 問 池田政綱
 会計監査 山本万亀子



退任・新任委員からひと言ごあいさつ

退任のあいさつ



この度会計を退任いたしました。２００９年から１３年間会計を務め、有意義で楽しい国際交流や会員間の交流を健全財政維持で支えてこれたのではないかと思います。委員会においても、議論を通してクラブの活性化に取り組んで来れたことは皆さんの協力の賜物と感謝いたします。コロナ禍で、FFIの活動も大きく変わろうとしており、大阪クラブの対応も難しい状況ですが、今後とも会員の皆さんの活動への参加ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会計：木原利幸



委員として２５年、ありがとう!! ある友人との再会からFFOの活動を紹介され、即仲間入りをいたしました。FFOの活動を支援していたある会社の一室で毎月一回の会議に参加し、気がつけば委員として２５年の時が流れていました。毎年満開の桜の木の下で開催されたウェルカムパーティから始まる一連の行事を思い出として、これからも残された時間を会員として、皆様の友情の輪の中で生きたいと願っています。歴代の会長、委員、会員の皆様に心より感謝します。

古川 マツエ

新任のあいさつ



FF 大阪に入会後まもなく、ホバート訪問に参加させて頂きました。FF の素晴らしさに感動し、皆様の国際交流への思いと多才に圧倒され、少しでも付いていこうと思った矢先にコロナ禍。時が徒に流れる中で「委員に」とお話があり、微力ながらお引受けする事になりました。精一杯努力したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

和多田 美津子



今年度より委員をさせていただきます西田ともうします。右も左も分からない新参者で皆様のお役にたてるかどうか分かりませんが、これからいろいろ勉強しながら、FF 大阪の活動や広報のお手伝いをさせていただければと思っています。微力ながら精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

西田 直美



FFO に入会して３年になります。まだまだ分からない事ばかりで、委員としての仕事を果たせるのか、自信はありませんが、皆様に教えて頂きながら、一つ一つ覚えていきたいと思っています。微力ながら、FFO を盛り上げるため勤めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

南山 市子



古川さんのご紹介でFFO に入り、３年目になります。３年前に娘のいる大阪に秋田から来ました。今までは、FFO の行事や活動にあまり参加していませんでしたが、これを機に、参加していきたいです。FF の活動については、皆様に教えていただきながら、がんばっていききたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

菅原誠子

2022 年の取り組み

コロナ禍前は例年春に行われていた受入れも中止となり、秋に予定している渡航も厳しい状況ですが、定例行事だけでなく、次の事例のように沢山の活動が計画されています。

- ・ myFF の機能やバーチャルイベントは更に充実が図られる計画
- ・ 大阪クラブの創立 40 周年に向けて記念行事の企画
- ・ 国内交流
- ・ 日本大会（10月26～28日、新潟クラブ）

2022 年もコロナウイルスに気を遣いながらの活動になることは否めませんが、友情を深め、親睦をはかって明るい未来につなげたいものです。

FF 会員ポータルサイト myFF へ登録、運用

myFF が導入され、会員がつながり合い、ネットワーク上で交流活動を行う舞台が出来ました。大阪クラブ内でも説明会、FFI からの情報提供を行ってきましたが、説明会後に十数名の方が登録して頂いて以降伸び悩んでいました。しかし、昨年暮れから徐々に増えて、2 月中旬には 8 割強の方が登録済です。世の中には種々の SNS があり、手軽にアカウントが取得（会員登録）出来て、情報の入手や発信が出来ます。しかし、昨今トラブルや問題も顕在化しています。これは不特定多数が会員になることが出来るためではないかと思います。myFF はクラブ管理者が承認しないと登録できません。言い換えると登録者は FF の趣旨に賛同し FF マインドを持った人です。内容や機能は発展途上ですが、少しずつ交流イベントに参画し、リアルとバーチャルの両刀使いが出来る様になることを期待して進めたいと思います。 myFF クラブ管理者

国内交流

海外への渡航や受け入れができない状況で、今できることをみつけて ”立ち止まらず前に進もう” という事で、FR の皆さんから提案があり、各クラブが賛同し進めることになりました。 交流を通して国内にもたくさんの友達を作る、楽しい活動になると思います。

5 人の国内交流担当者を中心に委員会で交流プログラムを企画作成しているところです。

FF 大阪クラブがホストとして各地のクラブの人たちをもてなしたり、私たちも全国のクラブのプログラムに参加することができます。 会員の皆さんからの具体的な提案也大歓迎です(ω)

早く通常の活動ができるようになることを願いつつ、海外交流と同じくらい ”心に残る” 国内交流にしましょう。ご協力よろしくおねがいします。

国内交流企画グループ： 今井

創立40周年記念に向けて

来年 2023 年に大阪クラブは創立 40 周年を迎えます。コロナ禍により、受け入れや渡航が難しく、それどころか会員同士が直接会うことさえ躊躇されるのが現状です。総会では記念パーティー、記念誌、記念品等の案が出ました。総会后担当委員が会員同士の絆が深まり FF 大阪の発展につながるように 40 周年行事をどう進めるのか話し合いを重ねているところです。具体案が決まればお知らせしますので会員の皆様ご協力お願いします。

40 周年記念行事企画グループ 山田

2021 年活動報告

年初からコロナの波に幾度となく襲われ、活動は中止や変更を余儀なくされました。委員会や活動を対面で行うことは数えるほどでしたが、ZOOM を活用したり、コロナの波間をぬって集まったり、かわら版を発行したりすることによって繋がりを保つことができました。リクルート活動もままならない状況でも二人の新しい仲間が増えました。2021年の活動の概要及び幾つかの活動事例を掲載します。

活動概要	受入れ、渡航、	ノースペイ(カナダ)の受入れ、ベルジアンコースト(ベルギー)への渡航とも中止
	総会	対面形式の予定を書面総会に変更
	委員会	定例12回(内7回は ZOOM)、臨時4回(全て ZOOM)
	クラブ内行事	ZOOM 音楽会1回、ZOOM 思い出トーク(ホバート渡航)1回、LINE 養蜂レポート、ZOOM 講演会1回、グループ別(京都・大阪・神戸)昼食懇親会
	同好会活動	手芸の会3回(研修室にて)、英語の会4回(内3回は ZOOM)
	myFF 説明会	4月3回、8月1回、何れも ZOOM にて実施
	広報発行	ニュースレター“おおさか”1回、かわら版“大阪クラブかわら版”4回
	FFJ,FFI 関係	代表者会議、ブロック会議、諸イベントに代表者が参加

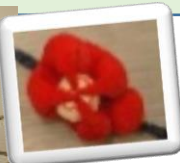
6月7日(月) ZOOM 音楽会

出演は、FF 活動の傍らシンガーソングライターとして長年活動が続けておられる木原さん。オリジナル6曲をエピソードとともに、また発表ステージの動画も含めて披露して頂きました。



手芸の会

7月18日タペストリー、10月17日厄除サルぼぼ飾り、11月21日メザシ飾りを作りました。講師の森本さんには、当日だけでなく材料の準備からお世話になりました。



養蜂現地レポート (LINE で4~7月随時)

大月さんのレポート、勉強になりました。



7月7日 ZOOM 渡航思い出トーク

池田さんの資料を見ながら色々な思い出をおしゃべり。渡航再開の夢がふくらみました。

第5日(10/4)その1、Richmond Village&自然動物園・動物病院

タスマニアデビル

カンガルー

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ

コアラ



11月11日 FF 大阪のオンラインイベント 演題:「日本海側こそが表日本」

朝倉さんに丹後地方等にまつわる興味深い歴史の話をして頂きました。丹後は、古墳時代から大いに栄え、古くから大陸と繋がり、ここを通して様々な文化が奈良や京都へもたらされたそうです。いっつもながら、実際に現地へ足を運ばれた話は聴衆を引きつけます。その内容をまとめて頂きました。

日本海側こそが表日本

ずっと以前、日本海側は、裏日本と言われていました。今回、何度も京都北部を訪れ、日本海側は裏どころか表側だった歴史を知りました。

丹後半島の周りに全長 198m の前方後円墳など日本海三大古墳があります。古墳には 9.7 cm の青色に光るガラスの腕輪がありました。飛鳥や奈良では見つからないガラスなので、日本海から来たとしか考えられません。^{ほうかく きく しんきょう}「方格規矩四神鏡」には青龍 3 年（西暦 235 年）という中国の年号が刻印されています。日本最古級の遠所遺跡製鉄工房跡もあります。日本海を通る交易が縄文時代からあり、長安—渤海—日本海—奈良をつなぐ、もう一つのシルクロードがあったのです。ヤマト王権^{たには}に対して丹波王国があったとも考えられています。



伊勢神宮の前に存在したという「元伊勢」と呼ばれる神社も巡りました。丹後一宮元伊勢籠神社と元伊勢三社の元伊勢外宮豊受大神社、元伊勢内宮皇大神社、天の岩戸神社です。それぞれ伊勢神宮と同じ神明造りで、樹皮がついたままの最も古い形式の黒木鳥居もくぐりました。



青龍3年（西暦235年）

間人に聖徳太子の母、穴穂部間人皇后が身を寄せたと伝えられています。綾部市には聖徳太子創建と伝わる光明寺仁王門もあり、京都府北部唯一の国宝です。飛鳥時代には山陰道を含む五畿七道が整備され、天橋立の近くには丹後国分寺も建立されました。

大江山の鬼退治の話は、平安時代の源頼光が有名です

が、3つの違う時代の鬼伝説があって、古墳時代の丹波風土記にも記されています。丹後半島にも浦島太郎の伝説があり、浦嶋神社も浦島太郎が玉手箱を開いた場所もあります。

日本海の方が航行しやすかったので、江戸時代には北前船の航路として大いに栄えました。今も各港に贅沢な豪商の家が残っています。奈良や京都では気づかなかった、興味深い歴史を学ぶことができました。



黒木鳥居



2021 年ニューフレンドからひと言ごあいさつ



入会のきっかけは、知人の紹介です。世界中に家族のような信頼できるお友達ができたらいいなあ、世界を愛でいっぱいになりたいなあ、海外ボランティアにも実際に参加したいなあ、といろいろ夢見ています。世界中の人たちが繋がり、仲良くなることもまた、世界平和に繋がると考えております。純粋に、人生をおもいきり楽しむためにも世界中の文化に触れたり、美しい景色を見たり、と、いろんな体験ができれば嬉しいです。これから仲良くしていただけたらなあと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。 谷本千怜



会員宅を訪ねた時に、パンフレットを見て興味を持ち、入会しました。50年前、インド、デリーの日本人小学校に勤めていました。48度の暑さ、唇や目尻まで切れる乾燥に耐え2年余り暮らしました。アグラのタージマハールへの修学旅行、クリスマスの各国との交歓会、ナショナルスタジアムを借り切ったの運動会等日本で経験できないことを経験しました。美味しいマンゴーも飽きるほど食べましたが、首を横に振るインド人の、うなずくしぐさには帰るまで慣れませんでした。 巽 正憲

2021 年年忘れ昼食懇親会



京都グループ



神戸グループ



大阪グループ



* かわら版

クラブ内外向け広報誌として“ニュースレター”を発行していますが、会員が近況などを気軽に情報提供してクラブ内のコミュニケーションを図ろうとスタートしたものです。事務局が世話を行ない、2021 年は4回発行しました。

編集後記

コロナ前と異なり、受入れも渡航も中止になってニュースレターを発行する機会も減ってしまいました。しかし、昨年を振り返ると、不自由でも会員が協力すれば出来る活動はあり、つながりを深めることができるということが分かります。更に充実した内容になることを期待したいと思います。

編集・発行 フレンドシップフォース大阪クラブ

発行日 2022年2月

事務局 〒573-0032 枚方市岡東町 1-10 金山忠夫

kanayama573@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ担当 飛岡文夫 <http://ffosaka.pro.tok2.com/>

編集人 佐藤、細井、金山、長谷部、山田、吉良、岩田、